

農林水産部試験研究課題にかかる令和3年度外部評価委員会の結果について

令和3年12月1日
農林水産政策課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いましたので、報告します。

1 外部評価委員会

- (1) 実施時期 9月（書面審査による評価）
- (2) 評価者 学識経験者（鳥取大学、公立鳥取環境大学）、流通・経済界（市場関係者）、生産者（農業・林業・水産業関係者）、消費者 計10名

2 評価結果（別紙参照）

- (1) 評価対象
 - ア 来年度から取り組もうとする研究課題（事前評価対象 8課題）
 - イ 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題（中間評価対象 14課題）
- (2) 評価結果の概要
 - ア 事前評価課題 8課題全て、研究を実施する。
 - イ 中間評価課題 12課題は、研究を継続する。2課題は、研究内容・方法を見直して実施する。

(3) 試験研究内容に関する委員の主な意見

ア 評価の高かった研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (中間)	水稻・麦・大豆の 高品質・安定生産 を目指した病害虫防除技術の確立	夏季の高温化等、近年の気候変化に対応する病害虫防除技術の高度化は、県内での米や大豆の生産維持に不可欠と考える。
園芸試験場 (中間)	市場競争力のある鳥取オンリーワン 園芸品種の育成	産地間競争が激しくなっている中で、個々の作目について積極的に新品種の育成が進められているので、継続して研究を進めていただきたい。
中小家畜 試験場 (事前)	畜産臭気モニタリングと臭気対策指 導手法の開発	臭気の見える化は客観的に把握できるので、必要だと思う。住宅地の拡大や住民意識の高まりの中で非常に大切な研究と考える。
畜産試験場 (中間)	体外受精卵技術を活用した和牛増頭 と育種改良技術の確立	遺伝子診断により、鳥取和牛ブランドがいずれ安定供給されることが現実的になる印象を持った。生産者のコスト負担にならないことを望む。
林業試験場 (事前)	山地災害リスクを考慮した森林整備 手法の検討	近年の集中豪雨による土砂崩れが各地で頻発している。このような研究はとても大切で、是非、進めていただきたい。
栽培漁業 センター (事前)	アカモク資源持続的利用技術開発	アカモクの認知度も高まってきているので、需要と供給のバランスがとれるよう、早めの対策を立てることは大変よいことだと思う。

イ 研究内容・方法を見直して実施する研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
園芸試験場	中山間地園芸作物の安定栽培技術の 確立	中山間地の生活基盤を支え、農地の荒廃を防ぐために必要な課題であるが、活用する対象者を想定した研究とする必要がある。
林業試験場	鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技 術の確立	皆伐再生林にカラマツが注目されているが、育苗技術の難易度や、植栽適地についてわかりやすく整理していただきたい。

3 今後の取組

- ・委員の専門性の高い意見や助言も踏まえながら、今後の試験研究課題への反映を行い、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- ・今回の評価結果をホームページ等で公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様に試験研究への理解促進を図る。

農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点 (15点中)	総合評価
1 農業 試験場	中間	水稲新品種育成試験	S43～継続	12.1	◎
	中間	水稲・麦・大豆の 高品質・安定生産を目指した病害虫防除技術の確立	H27～継続	12.8	◎
3 園芸 試験場	事前	新技術を活用した他産地に打ち勝つブドウ栽培技術の確立	R 4 ~ R 8	12.2	◎
	中間	市場競争力のある鳥取オンリーワン園芸品種の育成	R 1 ~ R 5	12.8	◎
	中間	鳥取のナシ産地活性化を目指す栽培技術の確立	R 1 ~ R 5	13.3	◎
	中間	「輝太郎」を核としたカキの産地力強化に向けた栽培技術の確立	R 1 ~ R 5	12.8	◎
	中間	中山間地園芸作物の安定栽培技術の確立	R 1 ~ R 5	11.8	○
	中間	鳥取の花きとシバ栽培を支える安定生産技術の確立	R 1 ~ R 5	12.4	◎
	中間	気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	R 1 ~ R 5	13.1	◎
	中間	野菜主要品目の生産拡大と高品質生産技術の確立	R 1 ~ R 5	12.4	◎
11 中小家畜 試験場	事前	畜産臭気モニタリングと臭気対策指導手法の開発	R 4 ~ R 6	12.5	◎
12 畜産 試験場	中間	粗飼料増産のための優良品種選定試験	H19～継続	12.5	◎
	中間	鳥取和牛ブランド向上試験	R 1 ~ R 5	12.2	◎
	中間	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	R 1 ~ R 5	12.3	◎
	中間	体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	R 1 ~ R 5	12.9	◎
16 林業 試験場	事前	ナラ枯れ跡地における更新状況に関する研究	R 4 ~ R 6	12.4	◎
	事前	山地災害リスクを考慮した森林整備手法の検討	R 4 ~ R 6	13.5	◎
	事前	鳥取県内に造林されたカラマツの育成状況と材質に関する研究	R 4 ~ R 7	12.1	◎
	事前	CLTのラミナの乾燥品質向上に係る研究	R 4 ~ R 8	12.5	◎
	中間	鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技術の確立	R 1 ~ R 4	11.9	○
21 栽培漁業 センター	事前	貝類付加価値向上対策事業	R 4 ~ R 6	12.4	◎
	事前	アカモク資源持続的利用技術開発	R 4 ~ R 8	12.6	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

	評価項目
事前 評価	研究ニーズ・緊急性(5点満点)
	研究計画・目標の整合性(5点満点)
	生産者・消費者への波及効果(5点満点)
中間 評価	必要性・社会情勢の変化(5点満点)
	進捗状況及び達成見込み(5点満点)
	生産者・消費者への波及効果(5点満点)